



8
2015
August

8月10日発行
第6巻 第2号 通巻57号

Bulletin

CHARTERED 2010



◆今月の聖句 ヨハネによる福音書第6章35節

「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。」

クラブ会長主題 : 『The BEST』から『My BEST』へ: 波多野守一

国際会長主題 : “Mission with Faith” 「信念のあるミッション (使命・目標)」

国際会長 : Wichian Boonmapajorn (タイ)

アジアエリア会長主題 : “Through Love, Serve” “信念のあるミッション (使命・目標)”

アジア会長 : Edward K. W. Ong (シンガポール)

西日本区会長主題 : 「あなたならできる! きっとできる」: “You can do it! Yes, you can!”

: 西日本区理事: 遠藤通寛 (大阪泉北)

京都部長主題 : いつも喜んでいなさい “Be joyful always” 京都部部长: 高田敏尚 (京都)



「副会長として」

第6期副会長 宮越 寛

第5期では次期会長の立場ではないので気負いなく、またメンバーの皆様のご協力をいただきながら副会長を務めさせていただきました。

しかしながら、振り返ると色々な意味で第5期河村長を十分にサポートできたのか? また、メンバーの為に微力でも役に立っていた? クラブ全体として成長できたかな? 等々、力不足を反省する次第です……。

が、時は立ち止まりませんので、やるしかないという思いで第6期副会長をスタートしています。

今期において、先ずは波多野会長の熱い思いである『三本の柱』の実現に向けて尽力したいと考えています。しかし、私のような痴れ者一人ではできることは限りがあります。何といたってもメンバー皆んなの『三本の柱』を実現するんだという熱い思いが必要かと思えます。とりあえず『三本の柱』である「メンバーを増やす!」「賞を取る!」「IBC・DBC!」、この三つをインプットしておいて下さい。

その次に思うのは、『三本の柱』の実現やZEROの成長の為に大事なものは、やっぱりメンバーひとりひとりのワイズメンとしての自覚と意識の向上・行動が必要かなと思います。また、クラブの基本サイクルとなる「委員会」「三役会」「役員会」「例会」へそれぞれの立場で出席し、話を聞いてまた意見することも大事です。もちろん、皆んなが忙しい中、時間を割く訳ですのでメリハリをつけて、面白い・楽しい場にすることも必要。

最後は、ワークやイベントにもっと多くのメンバーの参加を望みたいです。やっぱり多方面において数は力となり得ます。少数ではガチでしんどい作業も人数が多いと肉体的にも負担の少ない(作業を分担できるし辛くなく楽しい)ワークになるでしょうし、事業として継続可能。また、参加メンバーが多いと中身の濃いワークが可能で他クラブや部・区に対してもZEROをアピールできますし、ZEROはすごいなという評価にも繋がります。このことは正しく「賞を取る!」だと思えます。クラブ年間スケジュールとご自身のスケジュールを照し合わせていただき、一本釣りで結構です。なので「俺、これだけは絶対行くで!」というのをできれば決めておいて欲しいですね。

以上のようなことが今期首に思うところではありますが、次期は会長という事ですのでその立場に対してのご協力もメンバーの皆んなからいただきたいと思います。とりあえずは人事ですね。もし、頼まれた時の為に「俺、この役員(三役・委員長)やったらやるで」というのを思案しといてくださいね。

7月第1例会に於いて定時総会が行われました、私が入会して2度目の定時総会ですが昨年は入会して直ぐで何も分からず幾分か緊張気味で出席していたことを思い出しながら進行を見つめていました、今年は坂口さんが新メンバーとして加わられた新たな気持ちで例会に出席出来ました、私もまだまだ新人、共に歩んでいければと思います。

波多野新会長になり最初の例会、定時総会独特の雰囲気の中、特に問題もなく順調に議事が進んでいき無事終了しました。

『The BEST』から『My BEST』の会長主題のもと「メンバーを増やす!」「賞を取る!」「IBC・DBC!」の三つの目標の成果が上がるようメンバーとして協力していききたいと思います。

これからも慣れすぎず、常に程よい緊張感を持ちながらゼロワイズメンズクラブの一員として協力していきたく願っています。

奥村 悟



7月23日(木)の7月第二例会に参加させて頂きました。

この日は、ドリンクファンド(アルコール)もあり、いつもの例会より活発にメンバーの会話が交わされた良い時間になりました。

この日の議題は国内のワイズメンズクラブとの積極的な交流を広げ、例会やその他より良いボランティア活動などの参考になればという話合いでした。

現在、ZEROクラブとしては、熊本のクラブと友好関係をとっておりお互いの産地の物品の販売やり取り(ファン)など情報の共有は大変円滑に行われており、自クラブだけでは気付かなかった改善点や新しいことへの取り組みに大いに参考になっております。

このような、他クラブとの交流をもっともっと多くしお互いワイズメンとしての自覚や会の向上に進んでいけば良いとおもいます。

また、国内のみでなく海外にも沢山のワイズメンズクラブがあります。

私は、正直国外にこんなに沢山のクラブがあると思いませんでした。

東南アジアであったり、ハワイにもあるのがビックリでした。

ZEROクラブではまだこのIBC(International Brother Club)は締結できていないのですが早くどこかの国のクラブと締結できれば、今以上の活動に広がりを持つて日々が楽しくなるのではないかと思います。

石倉 直人



サバエワーク

7月12日（日曜日）

YMCA サービス・ユース(Y' サ・ASF・YIA)事業委員会の初めての事業です、改めまして今期 委員長を務めます竹園憲二です

H27年7月12日(日) サバエ開設ワークです。佐古田さん、高倉さん、宮越さん、竹園です。朝9時に集合し作業が始まります。今期ゼロクラブはサバエワーク2日目でした、1日目ワークの皆さんが大変頑張っておられたので作業範囲が狭かったです。

当日の天気は、晴天で暑さとの戦いでした。ゼロクラブは日陰棚周りトイレ周りの草刈、そして日陰棚のキュウイの整理などをして昼食をいただきました。お昼は数種類のカレーライスの中から私は3種類、2杯もいただきました。大変おいしかったです。

ゼロクラブ昼からは暑さに負けて、熱中症寸前でしたので作業終了、現地解散でした。参加いただいた皆さん本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。前期に植えた朝顔も成長し花も咲いていました。

来期の楽しみは日陰棚のキュウイ3本（オス2本、メス1本）植えて3本とも枯れずに成長しています。おおきなねれ。

竹園憲二



七夕ハッピーアワー

7月7日（火曜日）

今期 EMC 委員長を拝命致しました石飛です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

堅苦しい挨拶はここまでにして、第6期初のハッピーアワーを7月7日の七夕に行いました。七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。

毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。みなさんも子供のころ、たくさんの短冊をつるしておりひめとひこぼしにお願いごとをしたのではないのでしょうか？

そんな夜に今後のクラブの益々の発展とメンバーのさらなる増員を祈念して選んだお店は先斗町歌舞練場南の“茜屋純心軒”の納涼床。

この梅雨の時期、天候を気にしていましたが私の普段の行いが良かったのが主な要因かと思われませんが、昨日まで降っていた雨もあがりまさしく床日和となりました。

ゲスト4名をお迎えして総勢18名で宴会は始まり、美味しい料理と梅雨明けを感じさせる風が鴨川から吹き込み初対面のゲストの方達とも話しが弾みもちろんお酒も進みアッという間に時間が経ってしまいました。

おりひめ様！ひこぼし様！今期に多くのメンバーが入会してくれそうですように...お願いっ!!しまっす(笑)

石飛智憲



7月21日梅雨明けの夏空の下、笠取YMCAリトリートセンターにてZEROクラブの事業として今年も福島リフレッシュファミリーキャンプの夕食作りに参加させて頂きました。

比較的自然災害の少ない私達京都の住民にとって、福島から参加される皆様と交流の場が持てることと共に、心に残るおもてなしをさせて頂くことにより、少しでも辛い日常からリフレッシュしてほしいという気持ちで調理させて頂きました。

今年はZEROのメンバーである佐古田国際交流主査の『肝いりパエリア！？』…肝いりと言っても佐古田さんの『肝臓!!』が入っているわけではないですよ。ホットプレートで作る本格シーフードパエリアです。

数枚のホットプレートで調理したため電力不足により、少々出来映えには不安を残してしまいましたが、きっと心に残る暖かさが通じたのではないかなと思っています。

また来年も私達ZEROクラブの心のこもった料理を提供したいと思いました。

河村栄二



HAPPY BIRTHDAY

8月20日 高倉英理



知 恵 袋

岸田靖司

ワインを飲みたいのにオープナーがない！
そんな時の豆知識。

まず、ワインの底に革靴（わりとカカトが硬い靴が良いそうです）を履かせます。
脱げないように靴とワインをしっかりと持ち、壁や床にカカトを叩きつけます。
何度か叩いているうちにワインのコルクが抜けていくんです！
是非お試しください^^

YMCA NEWS

1. ICCPJ (International Camp Counselor Program Japan) のユースリーダー受け入れ

京都YMCAではICCPJ(インターナショナルキャンプカウンセラープログラム)として台湾の台中YMCAから夏のキャンプに1か月間ユースリーダーを受け入れて学びと、交流をしていただいています。今年で10年目となり、これまでに多くの若者が日本の文化やリーダー、会員の皆さんと触れ合って豊かな経験をして帰国されています。彼らは主にサバエキャンプ場でのキャンプリーダーとしてお働きいただきますが、ミーティングや日帰りのキャンプなどで京都市内で過ごすことも数日あります。この時にホテルではなく是非にホームステイも体験させてあげたいのです。3名を受け入れますのでスケジュールはそれぞれ違います。下記の期間で1泊ないし2泊のホームステイを受け入れてくださるご家庭を是非に求めます。(キャンプの準備などをしていきますので、ホームステイで観光案内などをしていただく必要はありません)受け入れていただく人数は1名です。小さな国際交流として日本の文化に触れて日本を理解していただく良いチャンスです。どうかよろしく願いいたします。

京都YMCAサマーキャンプ事務局(Tel.075-231-4388 中村又は亀山、関)までご連絡ください。

期 間: 7月17日(金)～8月16日(日)

2. 厦門ワークキャンプ(交流プログラム指導者派遣)

台中YMCAが毎年中国・厦門市で厦門YMCAと一緒にやっている国際キャンプに、今年から京都、仁川のYMCAも指導者として参加します。京都YMCAからは、職員1名と元職員1名、国際ボランティア3名が参加します。

日 時: 8月8日(土)～8月17日(月)

派 遣 先: 中国・厦門市

3. がん患者さんの会

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時: 8月15日(土) 午後7時～9時

場 所: 京都YMCA308号室

参 加 費: お一人 300円(お茶代等)

申し込み: (TEL) 075-231-4388

(E-mail) vb@kyotoymca.or.jp

4. 子ども向けボランティア講習会

ボランティアビューロー専門委員会では、野外や体育に通っている子供たちを対象に視覚障がい者介助講習会を実施します。子どもたちに楽しくボランティアについて学んでもらう講習会です。

日 時: 8月24日(月) 午前10時～11時30分

宿泊場所: 京都YMCA マナホール

参 加 費: 300円(当日回収いたします。)

申し込み: (TEL) 075-231-4388

7月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	16/23 名		13/23 名
メネット	0名		1名
コメント	0名		0名
ゲスト	0名		3名

月間出席者	月間出席率
19/21名	90.5%

TOF・CS・FF

TOF	0 pt
C S	0 pt
F F	0 pt

ニコニコ

7月	19,000 円
累計	19,000 円

ファンド

7月	0 円
累計	0 円

編集後記

ブリテン・広報委員長 岸田 靖司

ついに第6期スタートです!

新会長、新三役、新委員長のもと盛り上げていきましょー!

猛暑に負けないゼロクラブの熱い想いが実りますように～

今期の活動をしっかりお伝え出来るように私も頑張ります!

